

調査票

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJデータアーカイブ

調査番号 1321

調査名 平成24年度特に優れた業績による返還免除認定者に係る現況等に関する調査, 2019

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。

以下の質問にお答えください。該当する番号を○で囲んでください。

(表面・裏面の両面にお答えください)

1. 貴方が「特に優れた業績による返還免除制度」(以下「本制度」といいます。)認定を受けた大学院の系別を教えてください。

- ①. 文系 ②. 理系 ③. 医歯薬獣医系 ④. その他(文理融合系等)

2. 貴方は社会人入学により、当該課程へ進学しましたか。

- ①. はい ②. いいえ

(「課程」とは、貴方が本制度の認定を受けた修士・博士・専門職のいずれかを指します。以下同じ。)

3. 上記2で「はい」と回答した方にお聞きします。当該課程へ進学した時の満年齢を教えてください。

- ①. 22歳から30歳 ②. 31歳から40歳 ③. 41歳から50歳 ④. 51歳以上

4. 貴方が本制度を知った時期はいつですか。

- ①. 当該課程に進学前 ②. 当該課程に進学後(年次)

5. 貴方はどのような方法で本制度を知りましたか。最も当てはまるものをひとつだけ選んでください。

- ①. 大学案内(パンフレット・ホームページ等含む)を見て ②. 機構ホームページを見て
③. 指導教員から聞いて ④. 先輩・友人から聞いて ⑤. 家族から聞いて
⑥. 新聞報道・インターネット記事等を見て ⑦. その他()

6. 本制度がなかった場合、貴方は当該課程に進学しましたか。

- ①. 進学した ②. 進学しなかった ③. 進学したが退学していたかもしれない

7. 貴方が大学院進学を決めた一番大きな要因は次のうちどれですか。最も当てはまるものをひとつだけ選んでください。

- ①. 学問・研究を継続したかったため ②. 指導教授または家族の薦めがあったため ③. 奨学金の貸与を受けることが決まったため ④. 研究者・教育者になりたかったため ⑤. 就職のため ⑥. 起業のため
⑦. その他()

裏面にも回答していただきますようご協力をお願いします

8. 本制度は貴方が大学院で修学するうえで、インセンティブとなりましたか。
- ①. インセンティブとなった
 - ②. 特にインセンティブとはならなかった
 - ③. どちらとも言えない
9. 貴方の現在の状況はどれに当てはまりますか。(④または⑤を選択した方は、下記12へお進みください。)
- ①. 就業中(常勤、任期付含む)
 - ②. 就業中(非常勤)
 - ③. 就業中(派遣等)
 - ④. 在学中(留学含む)
 - ⑤. 無職(専業主婦含む)
10. 上記9で「就業中」(①～③)と回答した方にお聞きします。
- (1) 職種はどれに当てはまりますか。
- ①. 民間・研究所等の研究職
 - ②. 民間・研究所等の技術職
 - ③. 大学の教育・研究・技術職
 - ④. 大学以外の教育職
 - ⑤. 司法関係
 - ⑥. その他専門職()
 - ⑦. 事務職
 - ⑧. 自営業()
 - ⑨. その他()
- (2) 現在の職種は、本制度の認定を受けた大学院での専門知識が役立っていますか。
- ①. 大いに役立っている
 - ②. ある程度役立っている
 - ③. あまり役立っていない
 - ④. 全く役立っていない
 - ⑤. 今のところ分からない
11. 上記9で「就業中」(①～③)と回答した方にお聞きします。現時点において、貴方と同じ研究科を修了し就業している方と比べ、どのように自己評価をしていますか。
- (1) 待遇
- ①. 大いに恵まれている
 - ②. ある程度恵まれている
 - ③. あまり恵まれていない
- (2) 業務上の成果
- ①. 大いに挙げている
 - ②. ある程度挙げている
 - ③. あまり挙げている
12. 貴方と同じ課程を修了(同じ研究科を修了しているかどうかは問いません。)し、本制度の認定を受けた方をご存知ですか。
- ①. 知っている
 - ②. 知らない
13. 上記12で「知っている」と回答した方にお聞きします。貴方は、その方のその分野での待遇、業務上の成果をどのように評価していますか。
- ①. ほとんどの人を大変評価できる
 - ②. 半分程度の人を評価できる
 - ③. 評価できる人はあまりいない
 - ④. 分からない
14. 貴方が本制度の認定を受けた後、その業績に関連した特記事項がありましたら記載してください。

回答にご協力いただきありがとうございました。